

第 1 編 江田島市の教育行政

1 概要

江田島市教育委員会

〒737-2397

広島県江田島市能美町中町4859番地9（能美市民センター3階）

T E L . 0823 (43) 1900 代表（学校教育課総務係）

0823 (43) 1901（学校教育課指導係） 0823 (43) 1902（生涯学習課）

F A X . 0823 (45) 3501（学校教育課） 0823 (45) 3502（生涯学習課）

U R L : <http://www.edc.etajima.hiroshima.jp/>

E-mail : gakkou@city.etajima.hiroshima.jp（学校教育課）

gakusyuu@city.etajima.hiroshima.jp（生涯学習課）



能美市民センター（本館3階）

2 教育委員等



小野藤教育長



三島教育委員



樋上教育委員



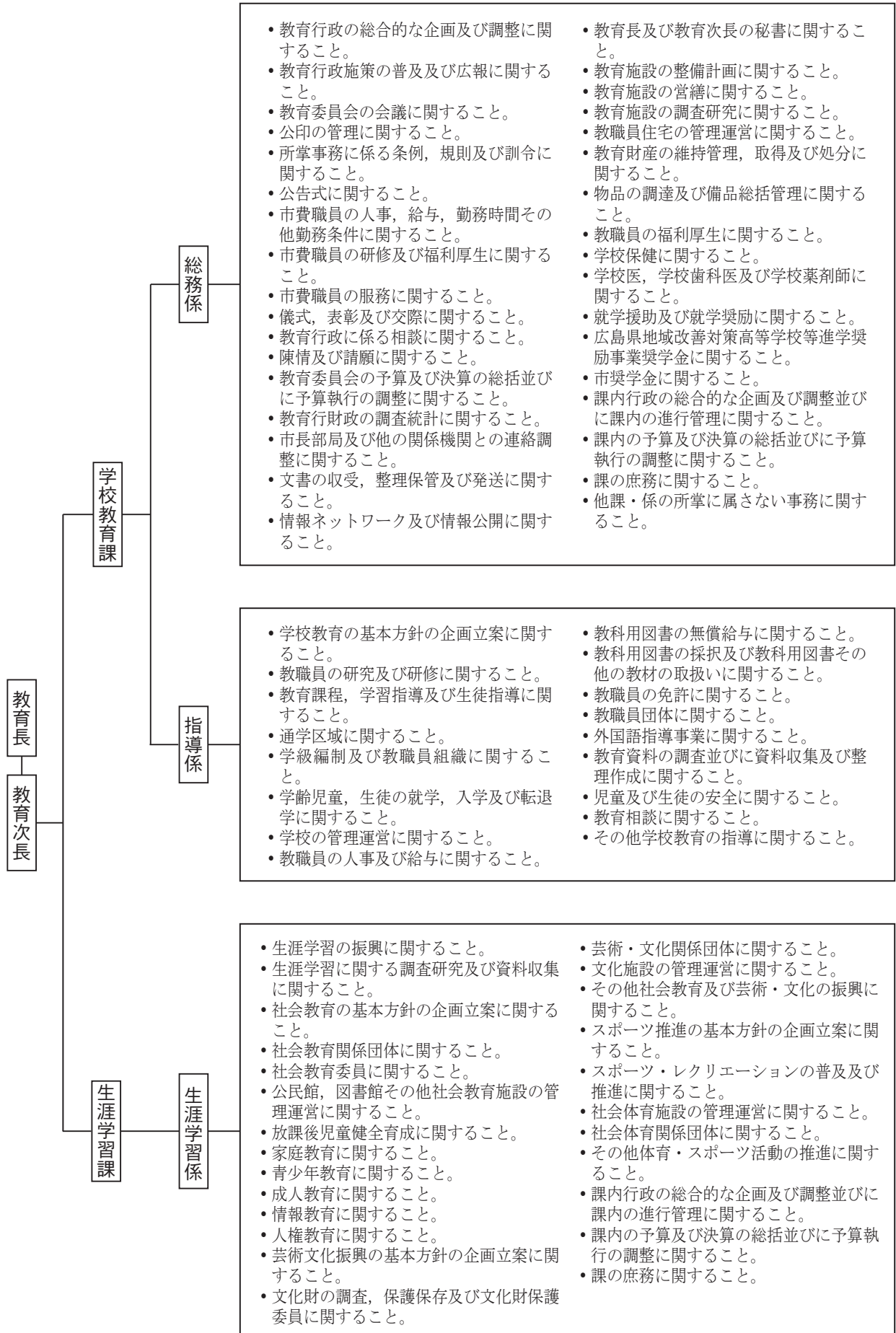
柳川教育委員



泊野教育委員

役職名	氏名	任期
教育長	小野藤 訓	自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日
教育委員（教育長職務代理者）	三島 雅司	自 平成30年4月1日 至 令和4年3月31日
教育委員	樋上 美由紀	自 平成28年4月1日 至 令和2年3月31日
教育委員	柳川 政憲	自 平成29年4月1日 至 令和3年3月31日
教育委員	泊野 仁美	自 平成31年4月1日 至 令和5年3月31日

3 事務分掌



4 一般会計予算（歳出・目的別）

（単位：千円）

	令和元年度		平成30年度		前年度比
	予算額	構成比	予算額	構成比	金額
議会費	188,776	1.1%	190,726	1.2%	-1,950
総務費	2,852,272	16.5%	2,466,331	15.7%	385,941
民生費	4,638,598	26.8%	4,843,929	30.9%	-205,331
衛生費	834,036	4.8%	821,546	5.2%	12,490
労働費	13,020	0.1%	22,514	0.1%	-9,494
農林水産業費	527,000	3.0%	648,401	4.1%	-121,401
商工費	295,275	1.7%	279,962	1.8%	15,313
土木費	1,204,394	7.0%	1,175,786	7.5%	28,608
消防費	1,863,501	10.8%	1,188,331	7.6%	675,170
教育費	1,338,762	7.7%	1,015,331	6.5%	323,431
教育総務費	252,217		246,488		5,729
教育委員会費	1,952		1,817		135
事務局費	119,814		116,078		3,736
教育振興費	130,451		128,593		1,858
小学校費	462,689		148,223		314,466
学校管理費	448,084		133,123		314,961
教育振興費	14,605		15,100		-495
学校建設費	0		0		0
中学校費	81,738		77,897		3,841
学校管理費	69,539		66,125		3,414
教育振興費	12,199		11,772		427
学校建設費			0		0
社会教育費	233,297		236,115		-2,818
社会教育総務費	134,768		132,750		2,018
文化振興費	6,517		11,975		-5,458
公民館費	20,031		27,050		-7,019
図書館費	47,150		39,852		7,298
人権教育費	1,614		1,619		-5
文化財保護費	3,145		2,002		1,143
学びの館費	5,010		3,922		1,088
環境館費	15,062		16,945		-1,883
保健体育費	308,821		306,608		2,213
保健体育総務費	11,276		11,800		-524
体育施設費	76,008		69,533		6,475
学校給食費	221,537		225,275		-3,738
災害復旧費	553,958	3.2%	18,000	0.1%	535,958
公債費	2,071,158	12.0%	2,133,238	13.6%	-62,080
諸支出金	879,250	5.1%	870,905	5.5%	8,345
予備費	25,000	0.1%	25,000	0.2%	0
合計	17,285,000	100.0%	15,700,000	100.0%	1,585,000

5 教育行政方針の概要

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人一人が、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となります。

このため、学校教育では、児童生徒の生きる力を育むことを目指し、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努めます。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と教育環境の整備・充実により、「人が育ち、輝くまち」を目指します。

学校教育の充実

<施策の目標(目指す姿)>

生きる力が生まれ、信頼される学校づくりが進んでいます

1 学校教育の内容(小中学校)

各調査結果を分析し、授業改善等を行うことにより、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準を向上させます。

また、急速に進展するグローバル化や情報化への対応を図ります。

【主な取組】

●授業改善等による学力の定着・向上	学力調査の結果の分析等を通して、授業改善等を行い、学力の定着・向上を図ります。
●発達段階に応じた道徳教育及び人権教育の推進	各教科等での指導や体験活動を充実させるとともに、家庭や地域と連携し、発達段階に応じた道徳教育及び人権教育を推進します。
●集団宿泊活動や自然体験活動等の体験活動の推進	小学校における集団宿泊活動の充実や、「里海」を教育資源とした自然体験活動の充実を図ります。
●自己指導能力を育成する生徒指導の充実	いじめの防止等の取組など、生徒指導体制の確立を図るとともに、児童生徒の問題行動等の未然防止や早期対応に努めます。
●体力づくりの場の充実等による体力・運動能力の向上	体力・運動能力調査の結果分析を活用した授業・スポーツ活動の実施及び部活動の活性化を図ります。
●学校・家庭・地域が一体となった食育の推進	食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけるとともに、家庭や地域と連携した食育の取組を推進します。
●言語活動の充実等によることばの教育の推進	言語活動の充実により、児童生徒の言語に関する能力を向上させ、思考力、判断力、表現力等の育成を図ります。
●発達段階に応じた系統的なキャリア教育の推進	中学校の職場体験学習をはじめ、発達段階に応じたキャリア教育を推進します。
●教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導や必要な支援を行います。
●江田島市内の校種間(小・中・高・特別支援学校)連携の推進	校種間の連携により、教育課題の検討、児童生徒の交流及び教職員研修の充実等を図ります。
●グローバル化・情報化に対応する教育の推進	外国語指導助手の活用等を通じて、小学校の外国語活動及び中学校の英語教育の充実を図ります。また、ICTを活用した授業の充実を図るとともに、情報モラルの育成を図ります。

2 学校と地域・家庭との信頼関係

組織的な学校体制のもとで、教職員を育成するとともに、学校評価の充実等を図ることにより、開かれた学校づくりを進め、学校・家庭・地域の連携により信頼される学校を目指します。

【主な取組】

●教職員の資質・指導力の向上	教職員研修の充実や自主教育研究グループへの支援により、教職員の資質・指導力の向上を図ります。
●開かれた学校づくりの推進	学校評価を充実させ、教育の質の向上を図ります。

3 学校施設の整備

安全・安心な教育環境を整備するため、老朽化した校舎等の大規模改修及び修繕を行うとともに、学校統合による遠距離通学の児童生徒を支援します。

また、教育の情報化に対応するため、ICT機器の整備を計画的に行います。

【主な取組】

●学校施設の改修	老朽化した校舎等について大規模改修等を計画的に進めます。
●学校施設・設備の管理・整備	学校施設・設備を適切に維持管理するとともに、計画的な整備を図ります。
●ICT機器の整備	教育の情報化に対応するため、ICT機器を計画的に整備します。
●遠距離通学への対応	学校統合により遠距離通学となった児童生徒のため通学手段の確保、路線バス定期補助を行います。

生涯学習の充実

＜施策の目標（目指す姿）＞

誰もが生涯を通じて学び、活動し、生きがいを感じ、輝いています

1 生涯学習活動の支援

市民ニーズにあった講座を実施するなど、生涯学習講座の充実を図ります。

また、内容の検討、積極的な広報等を行い、市美術展など文化芸術に接する機会の充実を図るとともに、児童や青少年の居場所づくり、体験学習などの機会の確保・充実に取り組みます。

更に、人権教育啓発の効果的な事業展開や、図書館利用について、市民の要望や意見等を参考にしながら利便性を高め、利用者の増加に努めます。

【主な取組】

●市民ニーズに応じた生涯学習の支援や交流機会の提供	生きがい、心豊かさ及び健康増進を図るための学習機会を設け、市民ニーズに応じた多様な講座を開催します。
●講演等による人権教育の推進	講演会などを開催し、市民の人権意識の高揚を図ります。
●公立図書館の連携や読書グループの育成などによる図書館サービスの充実	公立図書館などとの連携による図書館機能の充実や、市民読書グループの育成などによる、利用しやすい図書館を目指します。
●文化芸術を鑑賞する機会の確保	創作活動の振興と、優れた作品を鑑賞する場を設け、豊かな感性と確かな教養を培う機会を提供し、文化芸術の向上に寄与します。
●放課後の遊びや生活の場の確保	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対して、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。

2 社会教育施設の整備

生涯学習の活動拠点となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、社会教育施設の再編・整備について検討します。

【主な取組】

●社会教育施設の効率的な管理運営	様々な学習ニーズに対応する生涯学習拠点の管理運営を行います。
------------------	--------------------------------

3 伝統文化・文化財の保存

江田島市外の人々の関与も考慮しつつ、伝統文化や文化財の保存などに関わる団体を活性化します。

市民の文化財についての興味や関心を高めるとともに、文化財の保存・管理を適切に行い、地域の宝である文化財を次世代に継承していきます。

【主な取組】

●伝統文化・芸能の保存・継承	江田島市文化協会・江田島伝統芸能保存会の活動を支援します。
●古文書研修等と連携した文化財の保存・管理の推進・継承	古文書解読研修会の開催などにより、市民の文化財に対する関心を高め、保護・保存の意識啓発を行います。
●歴史・郷土施設の活性化	ものづくり教室・企画展などの充実や所蔵資料の整理等を行い、活性化を図ります。

スポーツの推進

＜施策の目標（目指す姿）＞

誰もが、興味や体力等に応じて、スポーツ・レクリエーションに親しんでいます

1 スポーツ・レクリエーションの普及・推進

地域で行う運動会をはじめ、各種スポーツ大会において、スポーツ推進委員や運動普及推進員などと連携し、体力づくりや健康づくりの普及・推進を図ります。

統合型地域スポーツクラブについては、市民ニーズに対応した運営を行うために、事務局体制の強化や指導者のスキルアップ、運営プログラムの充実等を図っていくとともに、市体育協会、スポーツ少年団など地域団体と連携し充実に努めます。

【主な取組】

●地域スポーツの推進	気軽にスポーツを楽しめるよう、スポーツに関する意識啓発や、取り組むきっかけづくり、目的に応じたスポーツの普及推進を図ります。
●ジュニアスポーツの推進	市スポーツ少年団を支援し、ジュニアスポーツの推進に努めます。
●競技スポーツの推進	市体育協会を支援し、競技スポーツの推進に努めます。
●マラソン大会などのスポーツイベントの開催	日本陸上競技連盟公認種目に位置づけた大会を開催し、競技力の向上に寄与するとともに、併せて特産品まつりを開催し、都市住民との交流を通じた地域の活性化を図ります。

2 社会体育施設の整備

スポーツ活動の場となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、スポーツ・レクリエーション施設などの再編・整備について検討します。

【主な取組】

●スポーツ施設の効率的な管理運営	スポーツ施設や備品の計画的な改修・修繕を進め、利用促進を図ります。
------------------	-----------------------------------

令和元年度江田島市教育委員会 経営計画

I 使命

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人一人が、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒が生涯を生き抜く力、社会で通用する力を養う基盤づくりをし、次のステージで活躍できる児童生徒の育成を義務教育の使命とし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と教育環境の整備・充実により、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II めざす姿

【児童生徒像】

- 生涯を生き抜く力である「知（学力・技能）」「徳（道徳心、人権尊重、他者理解）」「体（体力、耐力、健康）」がバランスよく育成されるとともに、それらを活用する力や社会性が育成されている。

【学校像】

- 組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される学校づくりを目指している。

【市民像】

- 文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人一人が、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

III 現状分析

【学校教育】

- 教職員の懲戒処分については、平成 30 年度は発生していない。（平成 28・29 年度も発生していない。）
- 全国学力・学習状況調査の平均正答率（B 問題）については、平成 30 年度は小学校及び中学校の全ての実施教科で全国平均を上回った。（平成 29 年度全国学力・学習状況調査の平均正答率（B 問題）については、小学校は全ての実施教科で全国平均を上回ったが、中学校は数学において全国平均を下回った。）
- 生徒指導上の諸問題において、平成 30 年度不登校児童生徒の割合は、小学校 0.74%（6 人）、中学校 1.74%（7 人）である。（平成 29 年度不登校児童生徒の割合 本市 小学校 0.12%（1 人）、中学校 2.73%（11 人））
- 「おいしい江田島の日給食」で使用した食材を全て答えられる児童生徒の割合 6%

【生涯学習】

- 学びの館及び大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の平成 30 年度来場者数は、学びの館 8,357 人、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）2,123 人である。（平成 29 年度来場者数学びの館 9,161 人、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）2,111 人）
- スポーツセンターの平成 30 年度利用者数は 29,449 人で、その内、トレーニング室の利用者数は、7,723 人である。（平成 29 年度利用者数 33,601 人、その内、トレーニング室の利用者数は、8,458 人）
- 図書館の平成 30 年度年間貸出冊数は、99,548 冊である。（平成 29 年度 100,581 冊）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校が実施した服務研修の好事例を市主催研修において活用し、各校の服務研修に生かせるようにする。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの変革」推進協議会を活用し、主体的な学びを促す授業改善について指導助言を行う。 ○ 学校訪問時に学力向上に係る取組状況を把握し、改善計画に基づいた取組が組織的に行われるよう指導助言を行う。 ○ 学力向上に係る先進校を各校の教員が視察する機会を設け、学びを広める場を設定する。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒数を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校の未然防止につながるアンケートを実施し、教育相談体制の充実が図られるよう指導助言を行う。 ○ 自己・他者理解、支え合う集団づくりの推進について、各校の実態に応じた指導助言を行う。 ○ 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、欠席日数が学期合計10日を超えた段階及び年度合計20日を超えた段階で、各校の実態に応じた指導助言を行う。
	江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる。	児童生徒が地場産品を知っている割合の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地場産品について、市内各学校で給食指導や食育活動を行う。 ○ 「おいしい江田島の日給食」を年2回実施し、江田島産品を積極的に使用するとともに、学校給食だよりや各学校の食育担当による取組により児童生徒への周知を行う。 ○ 市長部局（健康推進課）と連携し、「えたじまん食育レシピ」2万食プロジェクトを実施する。
生涯学習	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画展「瀬越憲作展（仮称）」を行う。（大柿地区歴史資料館） ○ 文化財等の展示企画を充実させる。 ○ 歴史に関する講座を企画する。 ○ 市民ギャラリーやものづくり教室の充実を図る。（学びの館） ○ 広報の活用や学校への呼びかけ等により、PR強化を図る。
	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	スポーツセンターの利用者数増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江田島市ゆかりのスポーツ選手の紹介を行う。 ○ スポーツイベントに合わせ、パブリックビューイングを開催する。 ○ 障害者が気軽に参加できるスポーツの紹介などに取り組む。 ○ 運動機器の使用マニュアル及び運動機器を使用したトレーニングメニューを作成する。 ○ トレーニング室を利用した健康教室を行う。 ○ 広報等の活用により、PR強化を図る。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2館2室合同の「スタンプラリー」を夏季休業中に実施する。 ○ 読書記録のため、「読書貯金通帳」配布に加え、HP「My本棚」等の活用もPRする。 ○ 小学校高学年対象の「子ども司書」養成講座を実施する。 ○ 子ども読書活動推進計画に基づき、家庭教育支援として読書活動をテーマとした参加型プログラム及び読書ボランティアによる「おはなし会」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成するなど、再度PRの強化を図る。 ○ 図書を受渡し窓口（貸出・返却）の拡充を図る。

令和元年度 自己評価表

江田島市教育委員会

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標	実績値		目標値	評価 (自己評価の結果)	改善策
					平成30年度	平成31年度			
学 校 教 育	教職員の勤務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。	各校が実施した勤務研修の好事例を市主催研修において活用し、各校の勤務研修に生かせるようにする。 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。	懲戒処分件数	0件	0件	0件		
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	「学びの変革」推進協議会を活用し、主体的な学びを促す授業改善について指導助言を行う。 学校訪問時に学力向上に係る取り組み状況を把握し、改善計画に基づいた取組が組織的に行われるよう指導助言を行う。 学力向上に関する先進校を各校の教員が視察する機会を設け、学びを広める場を設定する。	全国学力・学習状況調査(B問題)の平均正答率	小6 国語(+0.3) 算数(+2.5) 理科(+2.7) 中3 国語(+0.8) 数学(+2.1) 理科(+2.9)	・国語は全国平均を2ポイント以上、上回る。 ・算数・数学は全国平均を4ポイント以上、上回る。			
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒数を減少させる。	不登校やいじめの早期発見・未然防止につながる各種アンケートを実施し、結果分析に基づいた教育相談体制の充実を図られるよう指導する。 自己・他者理解、支え合う集団づくりの推進について、各校の実態に応じた指導を行う。 不登校傾向の児童生徒の状況を把握しながら、欠席日数学期合計10日を超えた段階及び年度合計20日を超えた段階で、各校の実態に応じた指導助言を行う。	不登校児童生徒の割合 平成29年度 (%)	小:0.74% (6人) 中:1.74% (7人)	小:0.13% (1人) 中:1.26% (5人)			
	江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる。	児童生徒が地場産品を知っている割合の増加を図る。	地場産品について、市内各学校で給食指導や食育活動を行う。 「おいしい江田島の日給食」を年2回実施し、江田島産品を積極的に使用するとともに、学校給食だよりや各学校の食育担当による取組により児童生徒への周知を行う。 市長部局(健康推進課)と連携し、「えたじまん食育レシピ」2万食プロジェクトを実施する。	「おいしい江田島の日給食」で使用した食材を全て答えられる割合	6%	25%			
生 涯 学 習	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館(雑尾記念文庫)の来場者数の増加を図る。	企画展「瀬越憲作展(仮称)」を行う。(大柿地区歴史資料館) 文化財等の展示企画を充実させる。 歴史に関する講座を企画する。 市民ギャラリーやものづくり教室の充実を図る。(学びの館) 広報の活用や学校への呼びかけ等により、PR強化を図る。	来場者数 (学びの館) (大柿地区歴史資料館 (雑尾記念文庫))	8,357人 2,123人	9,300人 2,300人			
	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	スポーツセンターの利用者数増加を図る。	江田島市ゆかりのスポーツ選手の紹介を行う。 スポーツイベントに合わせ、バブリックコミュニティを開催する。 障害者が気軽に参加できるスポーツの紹介などに取り組み。 運動機器の使用マニュアル及び運動機器を使用したトレーニングメニューを作成する。 トレーニング室を利用した健康教室を行う。 広報等の活用により、PR強化を図る。	利用者数 スポーツセンター (内 トレーニング室)	29,449人 (7,723人)	35,500人 (8,800人)			
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	2館2室合同の「スタンプラリー」を夏季休業中に実施する。 読書記録のため、「読書貯金通帳」配布に加え、HP「My本棚」等の活用もPRする。 小学校高学年対象の「子ども司書」養成講座を実施する。 子ども読書活動推進計画に基づき、家庭教育支援として読書活動をテーマとした参加型プログラム及び読書ボランティアによる「おはなし会」を実施する。 利用案内チラシを作成するなど、再度PRの強化を図る。 図書の実渡し窓口(貸出・返却)の拡充を図る。	年間貸出冊数	99,548冊	115,000冊			

6 主要教育行政施策の概要

第二次江田島市総合計画（H27～R6）

人が育ち、輝くまち

学校教育の充実

1 学校教育の内容

- ・ふるさと実感事業（継続）地域の教育資源の活用や地域貢献等の体験活動の充実
- ・キャリア教育推進事業（継続）夢や希望、勤労観・職業観を育む教育の実施
- ・特別支援教育推進事業（継続）一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を支援
- ・国際教育事業（継続）小中学校の英語（外国語）教育の充実、ALT（3名）の配置
- ・外国語指導事業（継続）実用英語技能検定の検定料の助成
- ・ICT教育事業（継続）ICT機器（タブレット端末）を用いた授業実践の研究
- ・ICT活用事業（継続）校務支援システムの導入による事務処理の効率化を図る
- ・里海学習推進事業（継続）海辺の生き物を観察する体験活動を通じて豊かな心の醸成
- ・理科教育推進事業（継続）小中学校の理科教育を推進し、学力向上を図る

2 学校と地域・家庭との信頼関係

- ・学校経営支援事業（継続）地域や学校の特色を生かした個性的な教育活動の支援
- ・研究指定校事業（一部新規）県の研究指定校事業の実施
- ・教育研究グループ支援事業（継続）教育課題の実践的研究、教員リーダーの育成
- ・大柿高等学校サポート事業（拡充）大柿高等学校魅力化コーディネーターの配置及び大柿高等学校の地域に根ざした教育活動及び中高連携の充実

3 学校施設の整備

- ・学校メール配信サービス運用事業（継続）緊急情報等のメール配信サービスの運用
- ・通学支援事業（継続）統合や自転車通学解消のための遠距離通学支援
- ・学校教育施設整備事業（一部新規）学校施設の計画的な整備

生涯学習の充実

1 生涯学習活動の支援

- ・生涯学習推進事業（継続）市民が生き生きと前向きな生活が送られるよう、講演会などを開催
- ・家庭教育推進事業（継続）家庭教育に係る学習機会の提供支援
- ・人権学習講演会開催事業（継続）市民一人一人が学び考える機会とし、人権感覚の高揚を図る
- ・人権に関する作品募集事業（継続）小中学生から人権をテーマとした絵画・作文を募集し、人権感覚を涵養
- ・文化・芸術鑑賞事業（継続）優秀な美術・演劇・音楽に接し、感性や教養を深める
- ・美術展開催事業（継続）市民の芸術・文化活動の活性化促進
- ・放課後児童健全育成事業（継続）放課後等に安全・安心な子どもの活動拠点を設け、児童の健全育成を図る

2 社会教育施設の整備

- ・公民館管理運営事業（継続）市民の自主学習活動を支援し、地域交流の拠点とする
- ・図書館管理運営事業（継続）市民の読書活動・コミュニティの場、情報発信の拠点

3 伝統文化・文化財の保存

- ・伝統文化継承事業（継続）郷土の伝統芸能や文化財の継承・市民へ文化意識の涵養
- ・ふるさと再発見事業（継続）歴史をキーワードにふるさとの素晴らしさを再発見してもらう機会を提供

スポーツの振興

1 スポーツ・レクリエーションの普及・振興

- ・市民スポーツ推進事業（継続）市民の体力・健康づくりの推進と市民交流の促進
- ・マラソン大会開催事業（継続）都市との交流や健康づくりを図るファミリーマラソン大会の実施

2 社会体育施設の整備

- ・市民プール開放事業（継続）市民の体力・健康づくり及び生涯スポーツの振興を図る

ふるさと実感事業

予算額 100万円
継続事業

事業の目的

ふるさとを愛する豊かな心を養うとともに、将来、地域の発展に貢献できる児童生徒を育成するための各学校における取組に対して補助金を交付し、児童生徒がふるさとを実感する教育活動の展開を支援する。

事業の内容

(1) 学校が行う地域貢献の支援「ぼくもわたしも江田島市民！」

- ・中学校区で小中学生がボランティア清掃を行う。
- ・地域の行事に積極的に参加する。

(2) 学校が行う地域学習の支援「江田島っていいな！」

- ・地域のことを学ぶため、学校から出て、地域で学ぶ。
- ・地域人材をゲストティーチャーとして招聘する。

(3) 講演会の開催「ようこそ先輩！」

- ・地元出身で活躍している先輩を招聘し、講演を聞く。
- ・地元出身で活躍している先輩による授業を行う。

キャリア教育推進事業

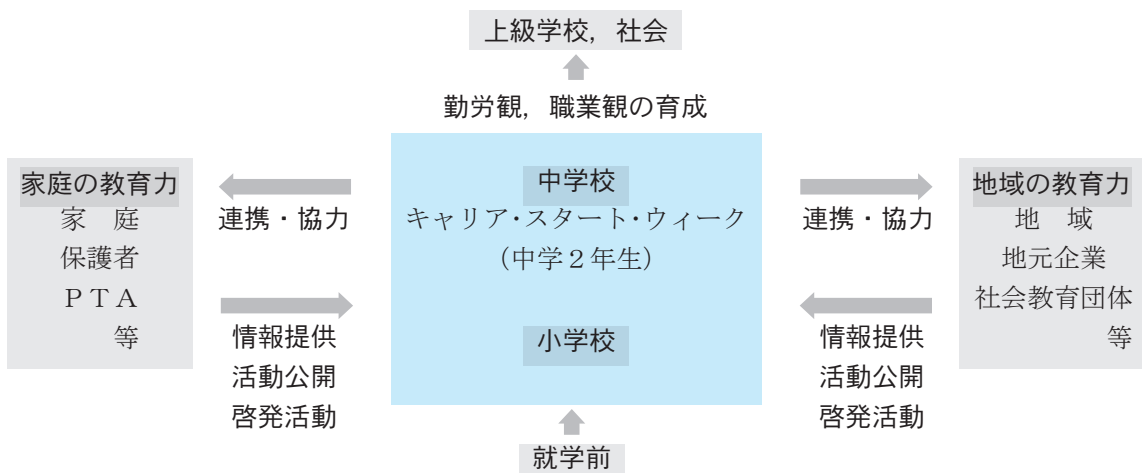
予算額 10万円
継続事業

事業の目的

児童生徒が社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を育成するため、5日間の職場体験学習（キャリア・スタート・ウィーク）などの取り組み等を通して発達段階に応じたキャリア教育の推進を図る。

事業の内容

社会人・職業人として必要な資質・能力の育成



特別支援教育推進事業

予算額 60万円
継続事業

事業の目的

LD（学習障害），ADHD（注意欠陥・多動性障害），高機能自閉症等（以下「LD等」）を含む障害のある幼児・児童・生徒に適切な指導や必要な支援を行うとともに，一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を実施する。

事業の内容

一貫した支援体制の整備

- 関係機関，専門家等と連携した就学前の教育相談の充実
- 就学時検診の実施
- 教育支援委員会の開催
- 専門家による教育巡回相談の実施
- 県特別支援学校江能分級での教育相談の実施

校内支援体制の充実

- 市費講師，学生支援員の配置による支援体制の整備
- 校内委員会の設置・充実
- 教材，備品の充実
- 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成
- 特別支援学校との連携の充実

教員の専門性の向上

- 特別支援教育コーディネーター研修会などの実施
- 指導主事の派遣

特別支援教育の推進

～一人ひとりのニーズに応じた教育的支援～

特別支援教育に関する普及啓発

- 専門家による講演会の実施
- 特別支援教育の理解における保護者との連携
- 特別支援教育に関する情報提供の充実

国際教育事業

予算額 1,390万円
継続事業

事業の目的

小学校での外国語科の実施に向け，外国語指導助手（ALT）を3名派遣し，小学校における外国語活動及び中学校における英語教育の充実を図るとともに，ネイティブな発音にふれ，外国の文化や習慣と慣れ親しむことを目的に実施する。

事業の内容

英語教育の充実により子どもの国際感覚を養う

- 言語や文化に対する理解の深化
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
- コミュニケーション能力（聞くこと・話すこと・読むことなど）の基礎の育成
- 国際感覚を養う
- 授業内容の充実

中学校における英語教育

小学校から中学校への
円滑なバトンタッチ

スタートカリキュラム

小学校における外国語活動

- 発達段階に応じた授業
- 言語や文化に対する体験的な理解
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
- 外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ

コミュニケーション能力の素地を養う

学校経営支援事業

予算額 200万円
継続事業

事業の目的

各学校の令和元年度学校経営計画における具体的な取組・方策に対する支援を行うために補助金を交付する。

事業の内容

学校評価の結果に応じて、学校を支援することにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。配分する額は申請内容に応じて決定する。
(対象校 10校)

江田島市小中学校の教育水準の向上

各学校における学校経営計画による具体的な取組・方策



研究指定校事業

予算額 37万円
一部新規事業

事業の目的

国や県の研究指定を受け、教育研究の充実と教員の資質向上を図る。

事業の内容

●小学校外国語パワーアップ事業

新学習指導要領の内容を踏まえた小学校外国語の指導方法、新教材の活用方法等の研究を推進
・指定校：鹿川小学校

●「道徳教育改善・充実」総合対策事業

小中連携による道徳教育の充実・発展に係る取組を推進するための実践研究を実施
・指定校：江田島中学校，切串小学校，江田島小学校

●学力向上フォローアップ事業

「主体的な学び」を促進し、学力の向上を図るための指導方法等に係る実践的な研究を実施
・指定校：江田島小学校

●学力向上推進地域事業

学力の課題を解決するための指導内容及び方法に係る実践研究を実施
・指定校：大柿中学校，大古小学校

教育研究グループ支援事業

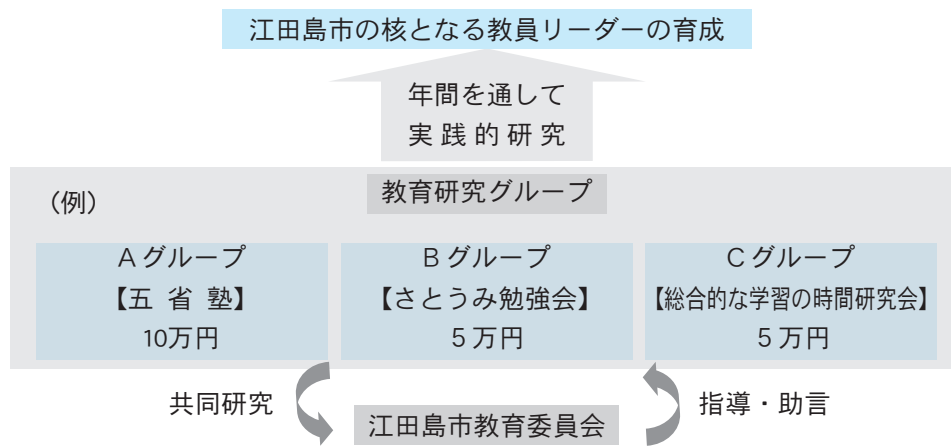
予算額 20万円
継続事業

事業の目的

教職員として求められる専門的な研究推進に向け、教職員が自主的に構成する研究グループの活動を奨励・支援することにより、さらなる指導力の向上や教職員としての資質・能力のさらなる向上に資する。

事業の内容

複数校の教員で構成し、江田島市教育委員会の指導主事等の指導のもとに研究を進める。



外国語指導事業

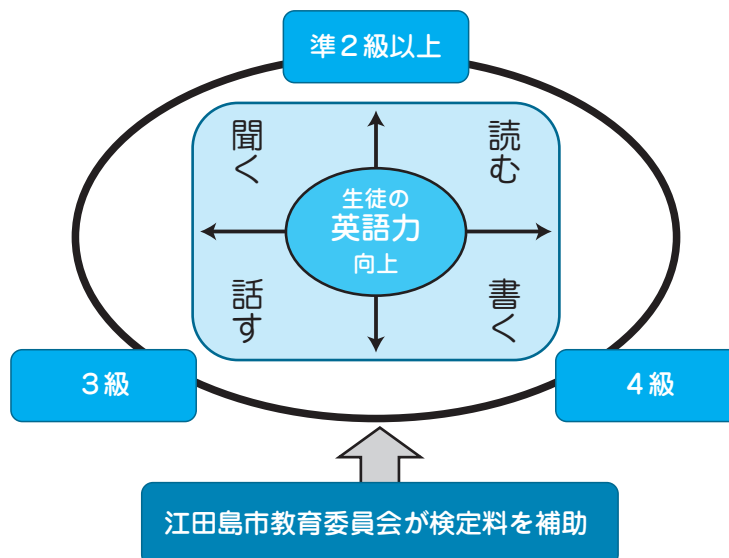
予算額 75万円
継続事業

事業の目的

江田島市立中学校在籍生徒に実用英語技能検定を積極的に受検させ、その検定料を補助することを通して、生徒の英語能力の向上を図る。

事業の内容

中学生の実用英語技能検定4級以上の受検にかかる検定料を助成する。



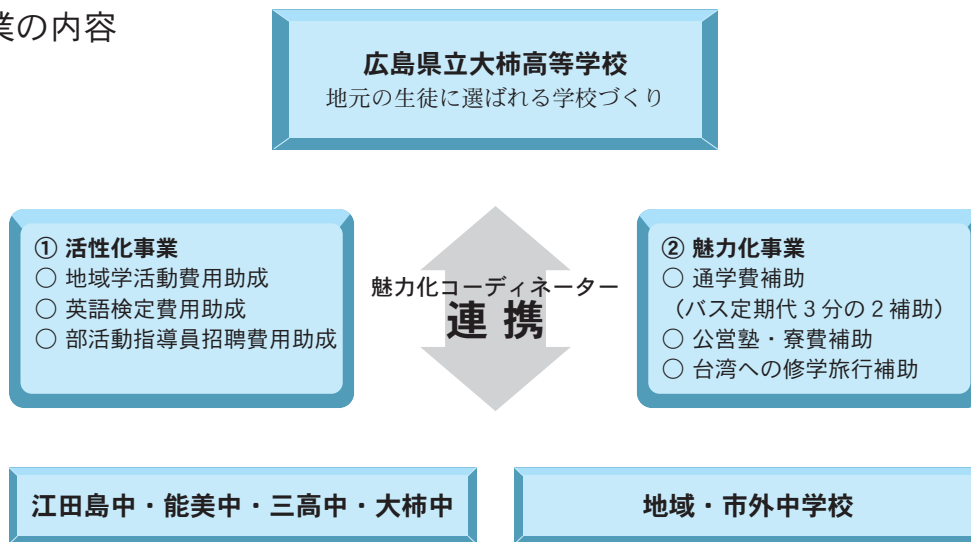
大柿高等学校サポート事業

予算額 1,563万円
拡充事業

事業の目的

県立大柿高等学校の存続に向け引き続き支援を行い、大柿高等学校の生徒が充実した高校生活を送り、長期的には、地元の生徒が、自分の夢を叶えることができる高等学校としてあり続けられるよう取組を行う。

事業の内容



ICT教育事業

予算額 687万円
継続事業

事業の目的

情報活用能力など社会の変化に対応するための子どもの力を育むため、情報教育機器の整備、拡充を図り、教師のICT指導力の向上を図る。

事業の内容

指導者・学習者の両面から活用が可能な情報端末（デジタルペン等）を用いた授業実践の研究を積極的に推進する。

- ・導入内容 平成28年度 デジタルペン（80本）
令和元年度 小・中学校パソコン更新

○モデル校事業

ICT機器を活用した授業実践、活用の研究及び活用事例集を作成。
モデル校：中町小学校

小中学校の教育研究会視聴覚部会において、ICT機器の活用の研究を実施。



ICT活用事業

予算額 634万円
継続事業

事業の目的 校務でICT機器を効果的に活用することにより、教員の事務負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を確保する。

事業の内容 校務支援システムの導入により、事務処理の平準化・効率化を図り、教職員が子どもたちと向き合える時間を確保する。
また、児童生徒情報の一元化により情報セキュリティリスクを低減させると同時に、多角的な情報活用を可能とし、教育の質の向上を図る。

データの
利活用

校務
支援
システム

指導の充実・教育の
質の向上

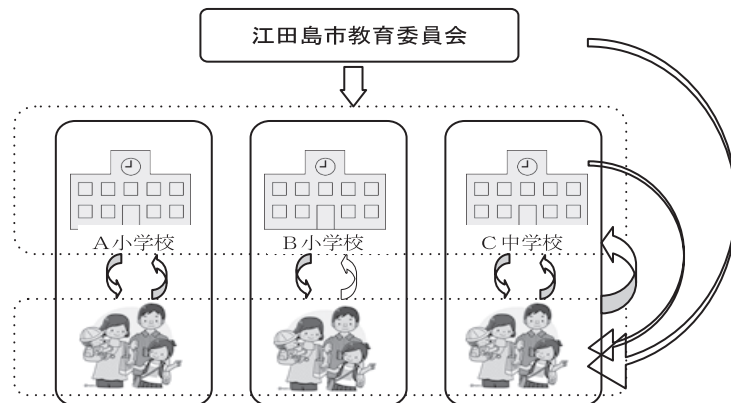
子どもたちと向き合
う時間を確保

学校メール配信サービス運用事業

予算額 20万円
継続事業

事業の目的 小中学校からのお知らせや緊急・不審者情報等のメール配信を保護者等に一斉に送信し、子どもたちの安全を守るとともに、学校の教育活動を積極的に発信できる情報ツールとして活用し、開かれた学校づくりの充実を図る。

事業の内容



配信される内容例

- ・不審者情報
- ・学校行事などの案内
- ・臨時休校のお知らせ
- ・インフルエンザ情報
- ・PTAからのお知らせ
- ・学校からの連絡

通学支援事業

予算額 4,880万円
継続事業

事業の目的

統合後の通学支援：統合等により遠距離通学となった児童・生徒への通学支援をする。

中学校生徒遠距離通学支援：遠距離自転車通学中学校生徒に対し通学時の安全対策のため、路線バス定期の補助を行う。

事業の内容

統合後の通学支援

切串小学校（1区間）

差須浜・大須・幸ノ浦・エセギ・タカノス
（スクールバス）

江田島小学校（6区間）

飛渡瀬・江南（路線バス）、秋月（路線バス）、
小用（路線バス）
津久茂（スクールバス）、大原官舎（スクール
バス）、石風呂・旧宮ノ原小（スクールバス）

中町小学校（1区間）

高田（スクールバス）

鹿川小学校（1区間）

是長・沖（路線バス・スクールバス）

三高小学校（1区間）

美能（路線バス）

大古小学校（2区間）

深江（路線バス）、大君・柿浦（路線バス）

中学校生徒遠距離通学支援

江田島中学校（4区間）

差須浜・大須・幸ノ浦・エセギ・タカノス
・切串（スクールバス）

飛渡瀬・江南・鷲部・中央（路線バス）、
津久茂・宮ノ原（路線バス）、秋月（路線バス）
※自転車通学なし

能美中学校（3区間）

是長・沖の一部（路線バス・スクールバス）
鹿川の一部（路線バス）、高田の一部（路線
バス）

三高中学校（1区間）

美能（路線バス）

大柿中学校（3区間）

小古江の一部（路線バス）、深江の一部（路線
バス）、柿浦・大君の一部（路線バス）

学校教育施設整備事業

予算額 3億5,200万円
一部新規事業

事業の目的

児童・生徒の安全の確保といきいき学び、活動できる学校づくりを進めていくため、学校施設の大規模改修を計画的に進める。

また、教育環境充実のため、トイレの洋式化を順次進める。

事業の内容

- ・切串小学校校舎大規模改修工事
- ・江田島市立小学校トイレ改修工事基本及び実施設計業務

大規模改修等工事設計



大規模改修工事

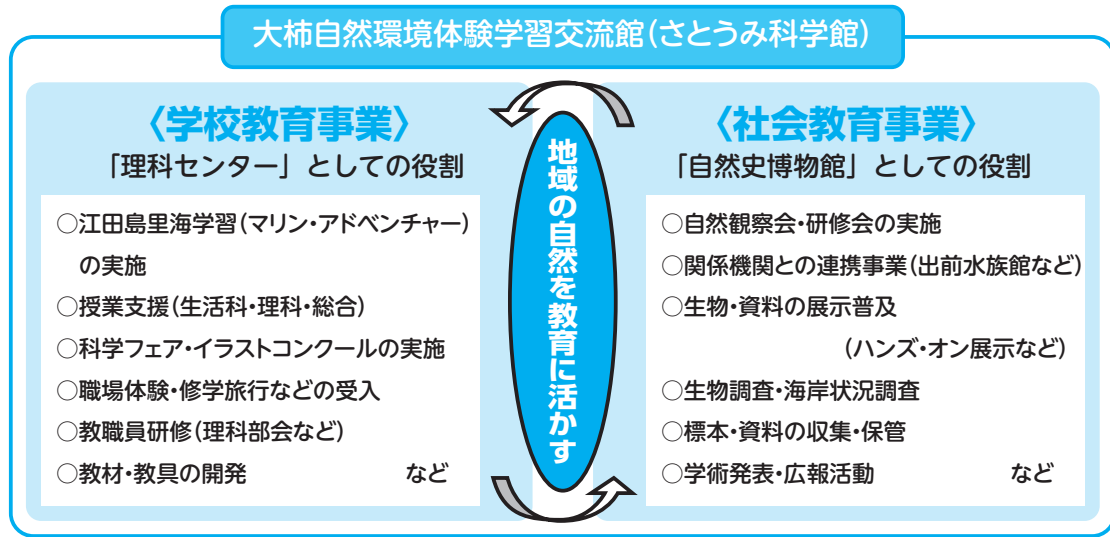
里海学習推進事業

予算額 205万円
継続事業

事業の目的

「里海」を教育資源ととらえ、江田島市ならではの「特色ある教育」として実施する。自然に直接触れ、海辺の生物を観察する体験活動や調査・研究活動（科学研究）などを通じて、ふるさとの自然に対する知的好奇心や探究心を育み、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。

事業の内容



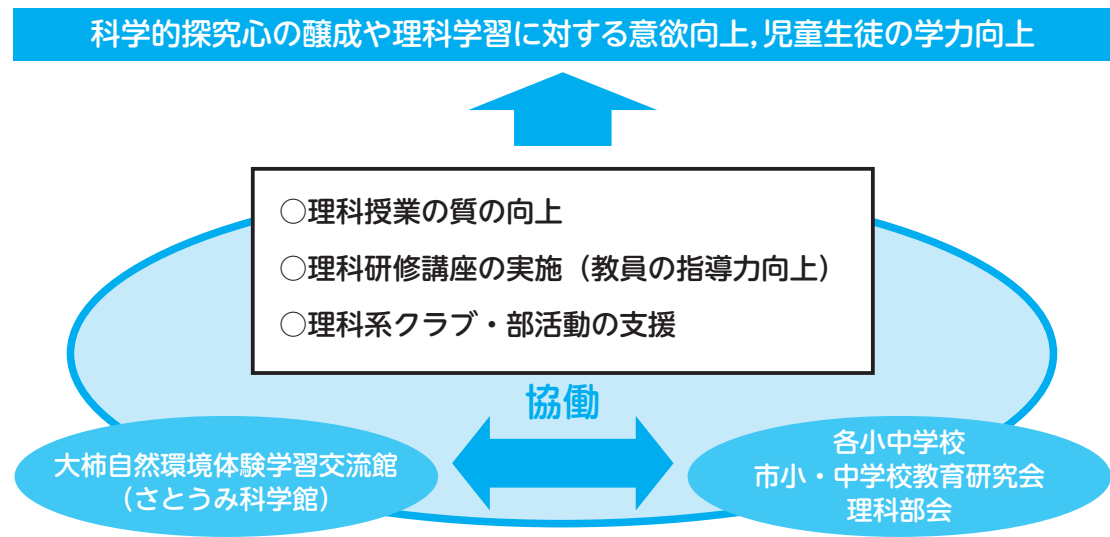
理科教育推進事業

予算額 20万円
継続事業

事業の目的

小中学校の理科教育を総合的に推進するため、小中学校が、大柿自然環境体験学習交流館(さとうみ科学館)と協働することにより理科学習を実施することで、教員の指導力と理科授業の質の向上を図り、自然体験・科学体験の充実を通して、児童生徒の科学への興味・感心を高めるとともに、学力向上を図る。

事業の内容



自然環境体験学習交流館リニューアル整備事業

予算額 171万円
継続事業

事業の目的

大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館）を中核施設とした「海と知のネットワーク」を構築しながら、「海辺の自然について学ぶなら江田島市へ」という認知度を高め、人が集い、交流しながら、学び、楽しむことができる「里海」を活用した知の拠点としての整備と事業の充実を図る。

事業の内容

●平成30年度よりスタートした整備事業●

<基本的な整備方針>

- ①「新築」によるリニューアル整備
- ② 体験学習の場として直接調査及び観察が可能な立地環境（海沿い）を重視すること
- ③ 利用者の便性向上と幅広いニーズへ対応が図れること

<事業内容>

平成30年度に作成した基本計画を基に最適地を決定し、整備内容及び運営計画など実施に向けた具体的な検討を行い、「第2次基本計画（実施計画）」を策定する。

- 調査検討業務委託、視察 等



生涯学習推進事業

予算額 102万円
継続事業

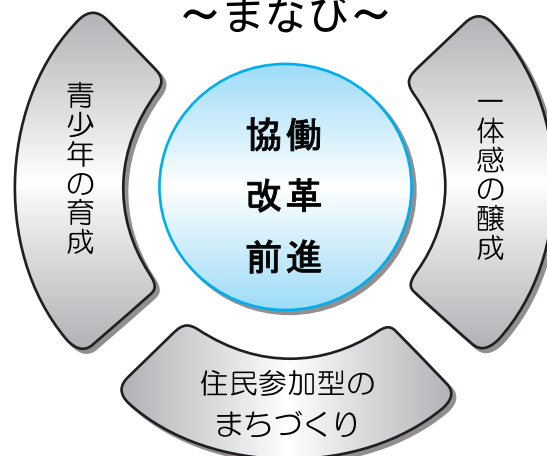
事業の目的

これからの生涯学習の推進と市民一人ひとりが生き生きと前向きな生活が送られるよう、講演会などを開催する。

事業の内容

生涯学習講演会

～まなび～



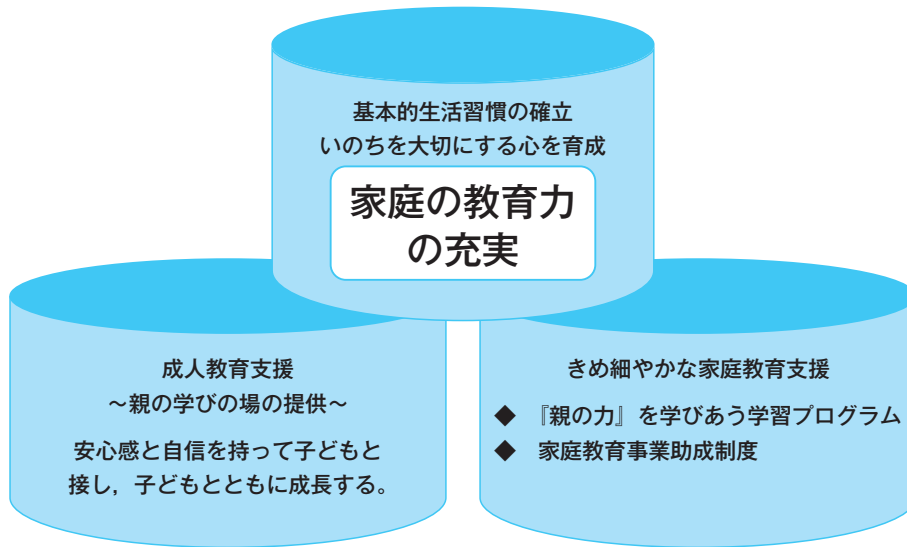
家庭教育推進事業

予算額 50万円
継続事業

事業の目的

人がこの世に生まれて最初に受ける教育であり、すべての教育の出発点である家庭教育を推進するため、地域社会や学校、行政、企業などが、それぞれの立場で子育て、人育てにアプローチし、相互に協力し合いながら支援していく。

事業の内容



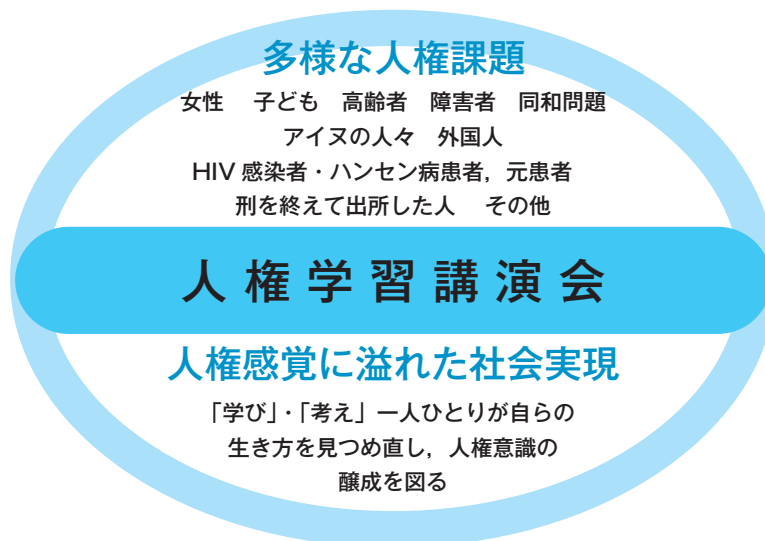
人権学習講演会開催事業

予算額 90万円
継続事業

事業の目的

一人ひとりが、互いに認め合い尊重できる「人権感覚豊かな」人間性を育むことにより、誰もが住んでよかったと思うまちづくりを目指すことを目的に、講演会を開催する。

事業の内容



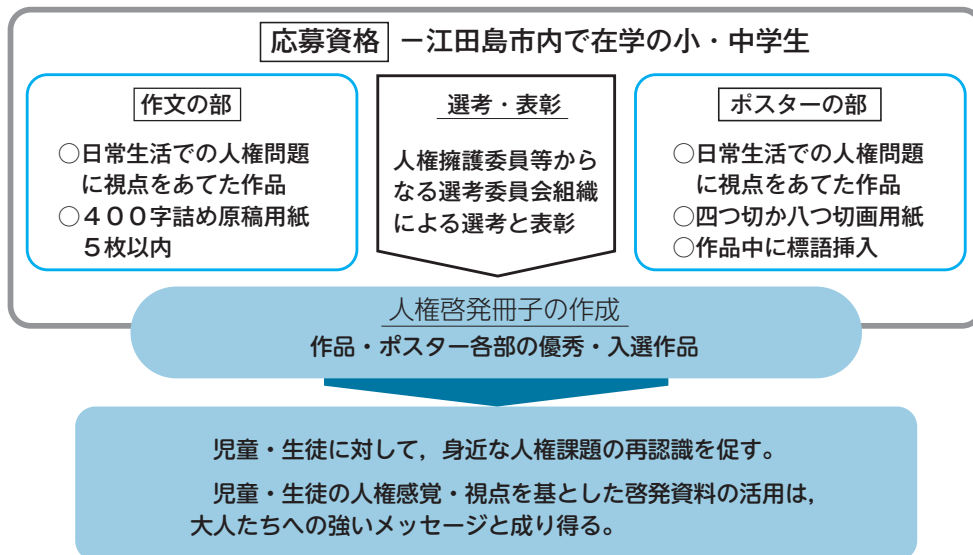
人権に関する作品募集事業

予算額 51万円
継続事業

事業の目的

市内で在学の小・中学生から、人権をテーマとした作品を募集し、児童・生徒の人権感覚を育むとともに、応募作品を基に人権啓発冊子を作成し、人権教育及び啓発資料として広く活用する。

事業の内容



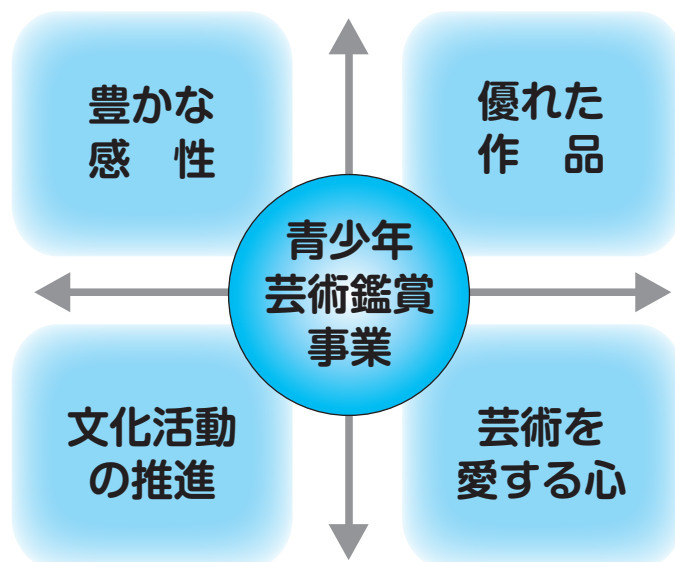
文化・芸術鑑賞事業

予算額 165万円
継続事業

事業の目的

子どもたちが本物の舞台芸術や伝統文化に触れる機会を設け、豊かな感性や想像力などを養う。

事業の内容



美術展開催事業

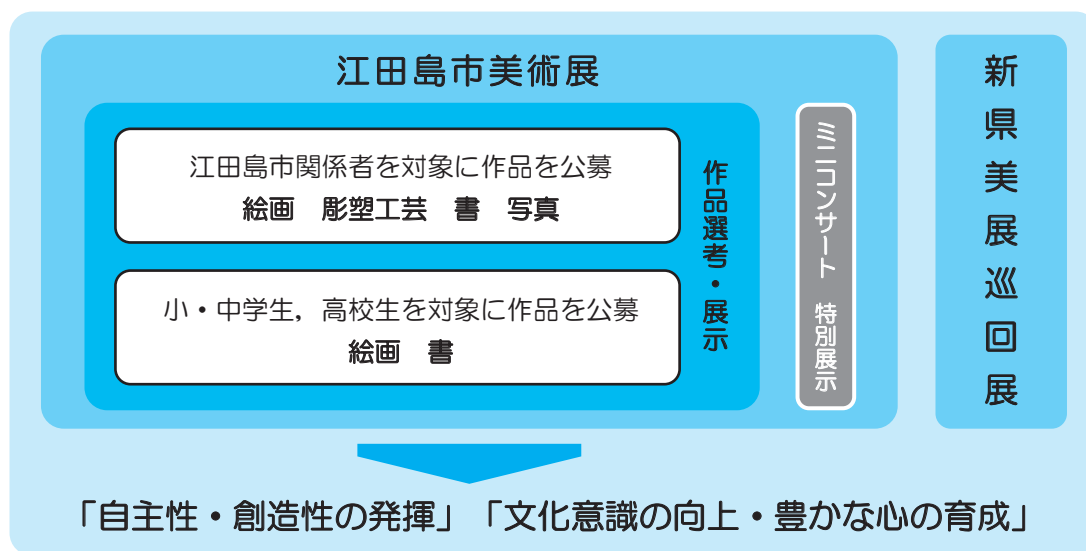
予算額 226万円
継続事業

事業の目的

市民の文化芸術に関する意欲的な創作発表を奨励し、自主性と創造性を発揮する場を提供する。

また、文化芸術活動・文化財等を鑑賞し親しむ機会を積極的に提供することで、市民の文化芸術意識の高揚を図る。

事業の内容



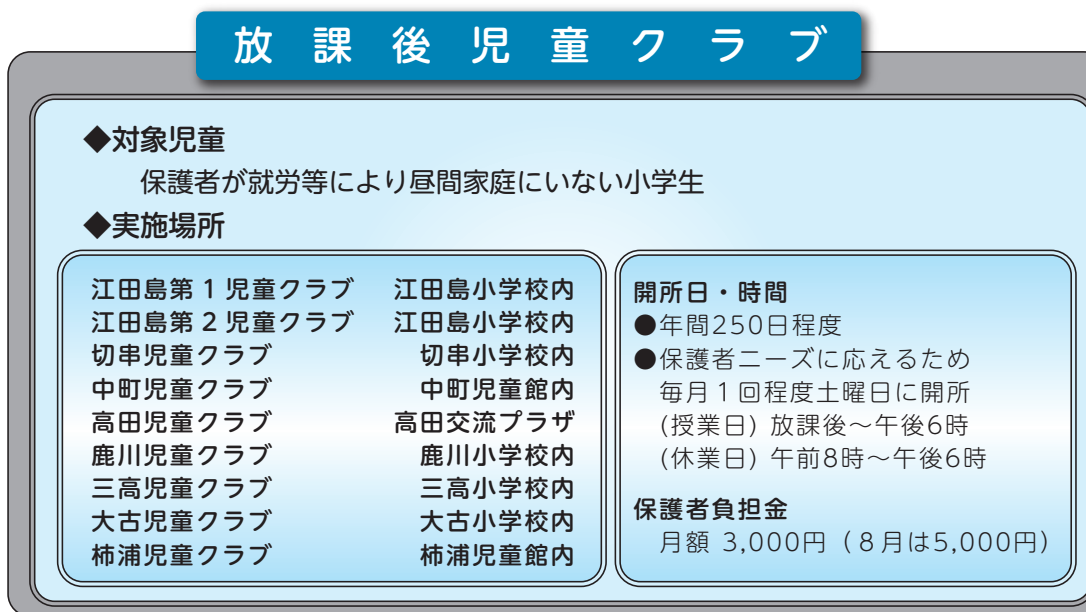
放課後児童健全育成事業

予算額 4,842万円
継続事業

事業の目的

保護者が就労などにより、昼間家庭にいない児童に対して、放課後や夏休みなどの長期休業中に、適切な遊びや生活指導を行い健全な育成を図る。

事業の内容



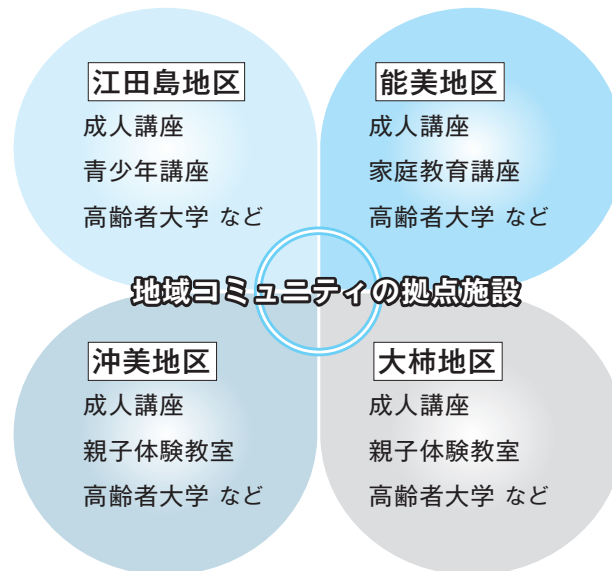
公民館管理運営事業

予算額 2,003万円
継続事業

事業の目的

住民に身近な生涯学習施設として、住民のニーズを的確に把握し、地域の課題解決に向けた取り組みを行うとともに、地域文化の継承や更なる発展を目的に文化・芸能活動を行う団体を支援する。また、各公民館で高齢者大学を開設し、生涯を通して元気で豊かな生活が送れるよう学習の支援や交流の場を提供する。

事業の内容



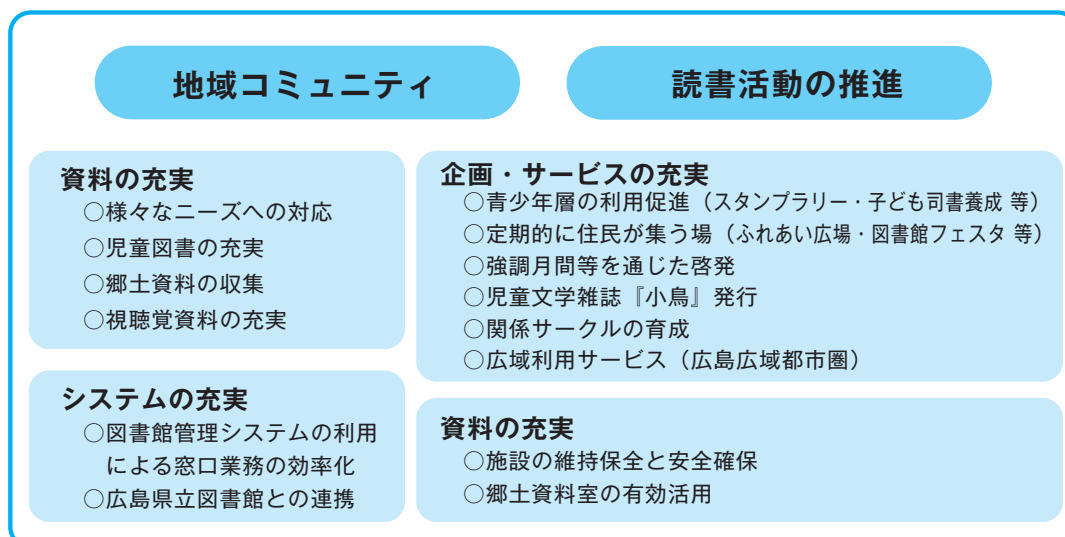
図書館管理運営事業

予算額 4,715万円
継続事業

事業の目的

利用者が安心して施設・設備を利用するための維持保全を行うとともに、地域における読書活動の中核的役割を担い、かつ定期的に住民が集える地域コミュニティの場としての役割を果たすための様々な方策を実施する。

事業の内容



伝統文化継承事業

予算額 924万円
継続事業

事業の目的

伝統芸能や文化財など郷土の貴重な財産を保存し、次の世代へ継承する責務を果たすとともに、これらを広く市民へ紹介していくことで、郷土の歴史や伝統文化への関心と理解を深めていく。

事業の内容

伝統芸能の保存・継承

文化財の保護・活用

「学びの館」「大柿地区歴史資料館・灘尾記念文庫」の充実と活性化
伝統芸能保存会への助成

次世代への継承

「文化財産への関心」と「豊かな人間性」

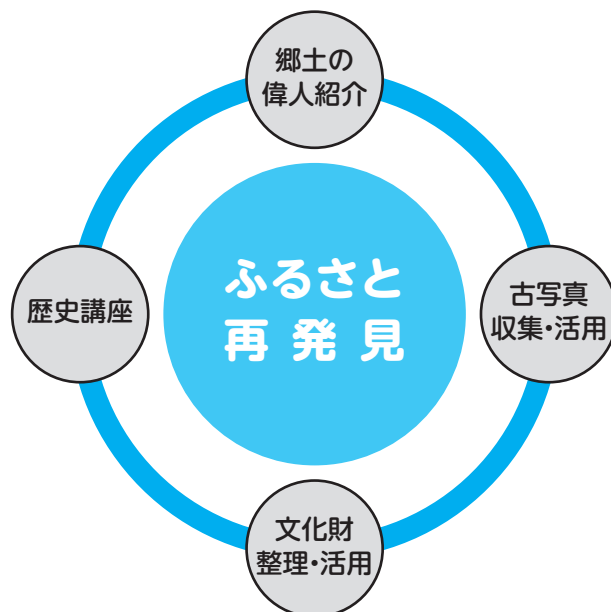
ふるさと再発見事業

予算額 289万円
継続事業

事業の目的

ふるさとの歴史を題材とした講座の開催や、歴史の記憶である古写真の収集・活用など、「歴史」をキーワードとした事業を展開し、ふるさとに再度目を向けてもらうことで、その素晴らしさを再発見してもらう機会とする。

事業の内容

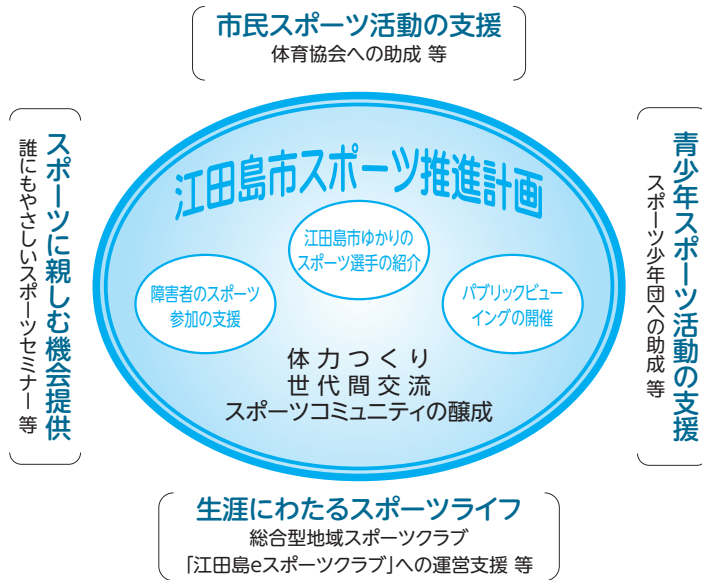


市民スポーツ推進事業

予算額 940万円
継続事業

事業の目的 江田島市スポーツ推進計画に基づき、市民のスポーツ活動を支援し、誰もが気軽にスポーツを楽しむ場を提供することにより、体力・健康づくりはもちろんのこと、世代間の交流促進や青少年健全育成、社会基盤としてのスポーツコミュニティの醸成を図る。

事業の内容



マラソン大会開催事業

予算額 260万円
継続事業

事業の目的 「潮風とともに走るふれあいマラソン」をテーマに、子どもから高齢者を対象に開催する。参加者に走る楽しさを感じてもらい、健康づくりへのきっかけを提供するとともに、一方で日本陸連公認のハーフマラソン種目を設けるなど競技力の向上にも資する。また、地元ボランティアによる協力と、市外に対して特産品のPRを行うことで、地元住民と都市との交流したまちおこしイベントとして、江田島市の魅力を発信する機会とする。

事業の内容



市民プール開放事業

予算額 1,852万円
継続事業

事業の目的 市内にある7プール（学校プールを含む）を夏休み期間中に開放し、市民の健康づくり、体力づくり、生涯スポーツの振興を図る。

事業の内容

教育委員会生涯学習課

委託業者

現場管理責任者（1名）

江田島地区

大原プール
切串小プール
江田島小プール

能美地区

鹿川小プール
能美中プール

沖美地区

三高小プール

大柿地区

大古小プール

すべての施設に、現場責任者1人、
管理人2人配置（大原、江小は3人）